

④		③	②			①
花びらの数が、とても	タンポポは、花びらが	イ、オ	㊦	①	㊦	イ
			うら	表	十円玉	
	多					
	い					
	から。					
	い					
	し、					

「かいせつ」

(1) 本文に、「でも、『すき』『きれい』って言いながら、一まいずつ花びらを取っていくのって、ちよつと、めんどうくさいかも。」とある。

(2) ナミが考えたのは、「十円玉を投^なげて、表^{おもて}が出たら『すき』で、うらが出たら『きれい』ってことにしたら、一回でできてかんたんだよ。」という、うらない方である。

(3) 「ユイが知っている花に、あてはまらないものをえらぶ問題^{もんだい}である。つまり、ユイが、知っている^{しっている}と答えていない花を、えらばよい。

ユイが知っている花は、「うーん。タンポポとか、ヒマワリとかかなあ。あとは、学校^{がっこう}で育て^{そだ}ている、アサガオとか、ヘチマとか。」とあるので、ここに書かれていない花をえらぶ。

(4) 本文に、「タンポポねえ。一まいずつ取っていくには、花びらが小さいかなあ。それに、花びらの数がとても多いし。ちよつと調べてみようか。」とある。

②			①		
B			A	C	B
ら	落	花がちるとき、Aの花は、	ツバキ	花びらが大きい	駅前の公園
が	ち				
落	る				
ち	が、(1)の花は、				
る	花				
	花	ご		から。	サザンカ(山茶花)
	び	と			

「かいせつ」

(1) A この花の写^{しゃ}真^{しん}は、お母さんが、スマホでとっていた花の写^{しゃ}真^{しん}のこと。花は、サザンカ。

B 本文に、「これはね、サザンカよ。駅^{えき}前の公園にさいていたの。」とある。

C 本文に、「そう。これなら、花びらが大きいから、花^つうらないに使^{つか}えるかもしれないわね。」とある。

「なぜですか」と、理^り由^{ゆう}を聞かれたときには、「から」や「るので」という言^ご葉^ばが、手がかりになる。

(2) A お母さんが、ユイに、花の名前について、問^{もん}題^{だい}を出^でして、――②線^{せん}部^ぶのヒントの後に、ユイが、「分^{ぶん}かった。ツバキだ。」と答^こえてい^いる。

B サザンカとツバキのちがいは、お母さんの言^ご葉^ばから、あてはまる言^ご葉^ばをさがす。

「当たり前。花^はがちるときに、花^はびらが落^おち^ちるの^のがサザンカで、花^はごと落^おち^ちるの^のがツバキよ。」とある。

④		③		②	①	
花 び ら の 数 が 、 と て も	タ ン ポ ポ は 、 花 び ら が	花。	学	十 円 玉	①	⑦
			校		一 ま い ず つ	き ら い
			で			
			育			
て						
多	小		て			
い	さ		て			
から。	い		い			
	し、	る				

「かいせつ」

(1) 線部の前の部分に、着目する。

(2) 本文に、「十円玉を投げて、表が出たら『すき』で、うらが出たら『きらい』ってことにしたら、一回でできてかんたんだよ。」とある。

(3) 本文に、「うーん。タンポポとか、ヒマワリとかかなあ。あとは、学校で育てている、アサガオとか、ヘチマとか。」とある。

アサガオとヘチマは、学校で育てている花である。

(4) 本文に、「タンポポねえ。一まいずつ取っていくには、花びらが小さいかなあ。それに、花びらの数がとても多いし。ちよつと調べてみようか。」とある。

③		②		①	
B		A		漢字	カタカナ
ウ	ア	ツバキ	駅	山茶花	サザンカ
花ごと落ちる	花びら		前		
			の		
			公		
			園		
	①				
	落ちる				

「かいせつ」

(1) 写真とは、お母さんが、スマホでとった花の写真のこと。花は、サザンカ。漢字では、山茶花。

(2) 本文に、「これはね、サザンカよ。駅前の公園にさいていたの。」とある。

(3) A サザンカと、よくにている花なので、ツバキのこと。

B サザンカとツバキのちがいは、お母さんの言葉から、あてはまる言葉をさがす。

「当たり前。花がちるときに、花びらが落ちるのがサザンカで、花ごと落ちるのがツバキよ。」とある。



④	③				②	①
マーガレット	⑤	⑥	①	⑦	だ	花火
	五まい	角ばっている	四まい	丸い	後	
					に、写真をとったから。	お母さんが、
						夕立
						が
						や
						ん

「かいせつ」

(1) 「一つ目の花」とは、マーガレットのこと。この写真を見たユイは、「へえ。花火みたいできれい。花びらが、取りやすそうだね。」と言っている。

「ふみたいだ」や「ふようだ」は、何かにたとえるときに、使う言葉。

(2) ー線部をふくむユイの言葉は、すぐ前の、お母さんの言葉を受けている。お母さんが、夕立がやんだ後に、写真をとったので、花に雨のつぶが、ついていたのである。

(3) 「花びらが丸いのが」というお母さん言葉から、花びらの形を、最後のユイの言葉から、花びらのまい数を読み取る。

(4) お母さんが、「この花なんか、ピッタリじゃない。花びらの数も、そんなに多くなさそうだし。」と言っていた花は、何かを読み取る。



②			①					
ウ	イ	ア	C		だ と 思 っ た 。	B		A
す き	五	角 ば っ て	き	公		ら	花	マ ー ガ レ ッ ト
			地	園		が、	火	
				の		取	み た い で き れ い だ し、	
				は		り		
				ず		や		
				れ		す		
			の	そ	花			
			空	う	び			

「かいせつ」

（１）A 「この花」は、一まい目の写真の花で、お母さんが、「これはね、マーガレットよ。」と言っている。

B ユイの言葉に、「へえ。花火みたいできれい。花びらが、取りやすそうだね。この花の名前はなんていうの。」とある。

C お母さんの言葉に、「公園のはずれの空き地よ。ちょうど、夕立がやんだ後にとったのよ。」とある。

（２）最後の、お母さんとユイの会話から、あてはまる言葉をぬき出す。オオマツヨイグサとまちがえないように、表に書いてみるとよい。

けっか	まい数	形	
すき	五まい	角ばっている	ツルニチソウ
きらい	四まい	丸い	オオマツヨイグサ